

農山漁村地域整備計画 事前評価調書

令和6年4月12日

計画の概要	計画の名称	「人と地域が育む 未来につづく 信州の農業・農村と食」の実現に向けた基盤整備計画
	計画策定主体	長野県
	対象市町村	別紙「農山漁村地域整備計画」のとおり
	計画の期間	令和5年度～令和9年度（5か年間）
	計画の目標	「長野県農業農村整備計画（第9次長野県土地改良長期計画）」に基づき、次の2つの基本方向に沿って、農業水利施設を始めとする農業生産基盤の整備を行うと共に、農村における生活環境整備、防災・減災対策を推進する。 ① 次代を担う産地を支える基盤整備の推進 ② 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり
	定量的指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆通作及び農産物輸送条件の維持向上が図られる農地面積 (0ha ⇒ 1,034ha) ◆実施計画策定事業の調査結果を活用した事業計画の策定率 (100%) ◆営農に係る労働条件の維持が図られる農地面積 (0ha ⇒ 9.9ha) ◆基幹的な農業水利施設、畑地かんがい施設等の更新整備により、機能の維持又は向上が図られ、農業用水の安定供給や排水機能が確保される農地面積 (0ha ⇒ 6,957ha) ◆農地防災対策により、湛水被害が軽減される農地面積 (0ha ⇒ 646ha) ◆集落排水施設の改築のための事業計画の策定率 (100%) ◆整備対象地区における耕作放棄地になるおそれのある農地の整備面積 (0ha ⇒ 40.6ha) ◆老朽化した農業集落排水施設等の長寿命化対策に着手した処理区数 (0処理区 ⇒ 9処理区)
対象事業	別紙「対象事業一覧表」のとおり	

	項目	検証内容	検証結果
事前評価	目標の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目標は関連する計画との整合が図られているか 	「第4期長野県食と農業農村振興計画」及び「長野県農業農村整備計画」に基づく目標となっており、上位計画における農業農村の目指す方向と整合が図られている。 (適) 否
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 目標は地域の課題に対応しているか 	本県の農業農村の現状と課題を踏まえ、持続的な農業生産と農村地域の安全性や利便性の向上を図るために必要な目標となっている。 (適) 否
	整備計画の効果・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 評価指標は計画の目標と整合が図られているか 	設定した基本目標の達成に向け、定量的指標を設定しており、整合が図られている。 (適) 否
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 評価指標は事後評価が可能である適切な指標となっているか 	交付期間終了後の実現状況等の評価が可能な指標となっている。 (適) 否
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 目標及び評価指標は対象事業の構成と整合が図られているか 	評価指標は、対象事業の実施により得られる効果が反映されるものとなっており、目標及び評価指標に対応した事業が選定されている。 (適) 否
	整備計画の実現可能性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象事業は円滑な事業執行の環境が整っているか 	対象事業の内容や費用負担等について、関係農家及び地域住民の理解を得ており、市町村等の支援体制も整っている。 (適) 否
<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象事業は地元の機運が醸成されているか 		対象事業の新規着手、早期完成の地元要望が強く、施設管理等への住民参加も進んでいる。 (適) 否	